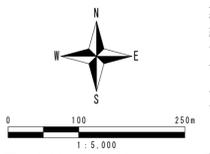


# 斐伊川浸水想定区域図



凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	0.5m未満の区域
	0.5 ～ 1.0m未満の区域
	1.0 ～ 2.0m未満の区域
	2.0 ～ 5.0m未満の区域
	5.0m以上の区域
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1. 説明文  
(1) この図は、斐伊川水系斐伊川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区間が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。  
(2) この浸水想定区域等は、指定時点の斐伊川の河道の整備状況等を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね150年に1回程度の確率で発生する大雨が降ったことにより斐伊川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。  
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川のはん濫、想定を超える降雨、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等  
(1) 作成主体 : 島根県  
(2) 指定年月日 : 平成20年8月1日  
(3) 告示番号 : 島根県告示第656号  
(4) 指定の根拠法令: 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項  
(5) 対象となる水位周知河川  
斐伊川水系斐伊川  
実施区間：左岸 雲南市三刀屋町上熊谷（新引野橋）から雲南市木次町熊谷1912番の2地先まで  
右岸 雲南市木次町西日登（新引野橋）から雲南市木次町新市2025番地先まで  
(6) 指定の前提となる計画の基本となる降雨  
流域全体に2日間総雨量399mmの降雨があった場合。  
(7) 関係市町村 : 雲南市  
(8) その他の計算条件等  
河道とはん濫区域を一体として、200mごとに浸水深を計算。